

重点的に取り組む内容

運動「1日8,000歩」

タバコ「防煙・禁煙」

野菜「あと一皿多く」

生活習慣病等重症化予防を推進

健診・検診の受診促進



1. 健康長寿わかやま県民運動推進大会「健康と食のフェスタ2018」の開催(新規)

これまでの「健康と食のフェスタ」の規模、内容を拡充して、健康づくりの機運を一層高めるため、県地域職域連携推進協議会および全市町村、専門委員※が一同に会して、“健康長寿わかやま県民運動推進大会”を開催

※専門委員は、県内保健所長および県薬剤師会、県食生活改善推進協議会、健康保険組合連合会、県教育委員会の代表者

和歌山健康と食のフェスタ2018の概要 (開催日 平成30年10月14日日曜日 予定)

- ①60団体参加 (県医師会、県病院協会、県歯科医師会、和医大等が新たに参加)
- ②ステージでは、健康推進事例の発表、市町村の取組発表や健康推進員の活動をスライドショーで紹介
各ブースでは、健康と食の展示のほか、体験を多く取り入れる
- ③県内の幼稚園・小学校の健康と食に関するイラストの掲示や川柳の応募作品から優秀作品を表彰
- ④健康推進優良市町村の表彰
- ⑤ウォーキングイベントやニュースポーツの体験を実施

2. 健康事業所の認定(新規)

県の健康推進企業と協会けんぽの健康づくりチャレンジ運動を見直し、「健康事業所」として新たに認定。健康事業所は、自施設の健康課題を把握し、健康づくりを実施。事業所内の健康づくり担当者を設置し、従業員の健康づくりをサポート

3. 統一教材作成(新規)

子供の時からの健康教育は重要であり、医師や保健師等の専門職が、学校などで健康教育を実施するため、マンガを取り入れた統一啓発教材を作成

4. ウォーキングイベント実施支援

目的:健康づくり運動ポイント事業の推進するとともに全市町村で歩く機会を増やし健康づくりを推進

国保の県特別調整交付金活用の周知

国保の保健事業で、ウォーキング事業を実施した場合、交付金が活用可能

※平成29年度の市町村健康づくり担当課への調査で県内21市町村でウォーキングイベントを開催。

5. 糖尿病性腎症重症化予防

本年3月、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、市町村、各医療保険者が行っている「健康診査・保健事業」と医療機関が行っている「医療」との連携・協力の強化などを行い、糖尿病性腎症重症化予防を推進